

## ドイツで学んだ再生可能エネルギー

ドイツで見た再生可能エネルギーの現状について報告した高校生ら。岐阜市のじゅうろくプラザで



### 福島の高校生が岐阜で報告会

NPO法人アースウォー「再生可能エネルギーについて」（宮崎市）は八日、一でドイツで学んだ福島の

高校生の報告会を、JR岐阜駅隣接のじゅうろくプラザで開いた。

同法人は八月、東日本大震災や東京電力福島第一原発事故で被災した高校生九人の経験を伝えるとともに、先進的なドイツの再生可能エネルギーについて学ぶ二週間の交流プロジェクトを実施し、全国各地で報告会を開いている。

福島市出身の蛭田里桜さん（左）は、避難先でいじめられたことなどをベルリンの高校生に向けてスピーチした経験を語った。「『実際に経験した人の話を聞いたことがなかったからびっくりした』と言われ、体験を自分の言葉にして伝えることが大切だと思った」と振り返った。

同県浪江町出身の戸川華恵さん（右）は太陽光パネルなどを導入したベルリンの集合住宅の取り組みを報告。「住民がチームみたい

で、よりよい場所にするために力を合わせていた。必要な分を必要な分だけエネルギーを使う効率的な使い方をしていた」と紹介した。

（稲田雅文）